

茶業関係者対象に研究報告会を開催

2月7日に宇治茶会館において、令和元年度茶業研究所研究報告会を開催しました。本会は、研究成果を速やかに生産者・茶商工業者に普及することを目的に毎年開催され、本年は310名の参加がありました。

最新の研究成果として、「宇治茶に含まれる機能性成分と栽培条件の関係調査」、「ここまで来ました～新型てん茶機の開発～」、「頭すっきりな毎日～新てん茶飲料の開発～」の3課題について報告したところ、会場からは、「機能性成分と味の関係性はどうか。」など踏み込んだ質問もあり、関心の高さが伺えました。また、「府内産高品質抹茶の成分特性と機能性成分」、「乳酸菌のポリアミン生合成経路の研究」等についてポスター報告を行い、多くの参加者と対面で意見交換を行いました。

今後も、常に生産・流通現場と密に関わり、現場のニーズに基づいた研究を進めるとともに、宇治茶ブランドの発展につながる成果の普及を目指します。



研究成果を報告する研究員



ポスター発表での活発な意見交換